

函館市 エコイベント開催マニュアル

できることから始めて、
エコイベントを進めましょう！



函館市環境部

はじめに

本市は多くの市民が集まる様々なイベントが開かれています。しかし、ごみや温室効果ガスが多量に排出される等、イベントでは環境に負荷を与える要素を含んでいますので、趣旨や目的を大切にしながら、できるだけ環境に配慮する必要があります。環境に配慮して実施するイベント「エコイベント」は参加者にとって快適であり、主催者と参加者が互いの立場で環境に配慮することができるなど、本市の環境を守り育てるうえで重要だと考えます。

このため、エコイベントを実施するための具体的な取り組みを示すために、平成16年3月(平成21年4月改訂)に作成した「環境にやさしいイベント開催の手引き」を、さらに利用しやすくなるよう全面的に改訂し、本マニュアルを作成しました。

規模や形態は様々なイベントでも、何らかの形で環境に配慮することができるはずです。どうか本書を参考にいただき、それぞれ工夫をしながら、エコイベントを開催していただきますようお願いいたします。

平成29年3月

函館市環境部

目次

1	エコイベント開催の必要性	1
2	エコイベント開催の実施フロー	1
3	エコイベントにするための5つの項目	1
I	ごみの減量化とリサイクル	2
II	省資源・省エネルギーの推進	4
III	環境に配慮した交通手段	5
IV	グリーン購入の推進	6
V	環境意識啓発の推進	7

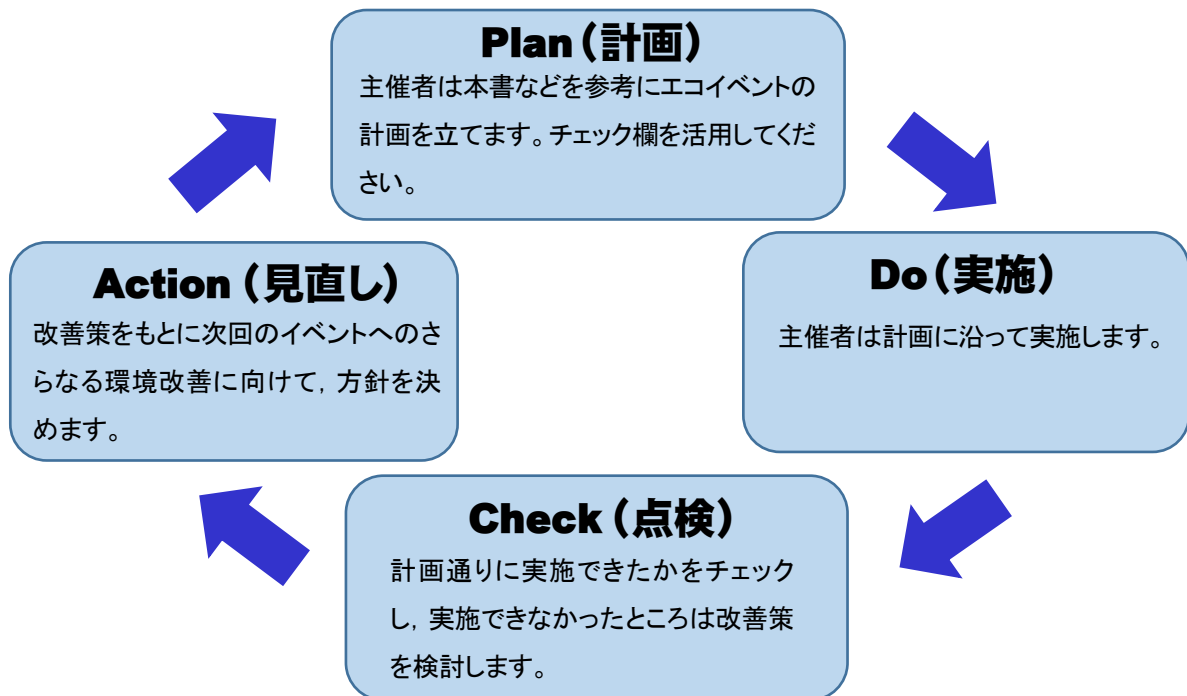
1 エコイベント開催の必要性

イベントは、多量のごみの発生や多くのエネルギーや資源を消費し、環境に大きな負担をかける要素を含んでいます。このようなことから、イベントの開催においては、環境に配慮した取り組みを進めることが重要です。エコイベントを実施することで、ごみの減量化や省エネルギー等につながり、地球にやさしく、予算にもうれしいイベントになるかもしれません。

2 エコイベント開催の実施フロー

エコイベントの実施の際には、環境を自ら継続的に改善するためのしくみである「環境マネジメントシステム」の考え方にに基づき、PDCA サイクルに沿って運営を行います。

◇PDCA サイクル…計画(Plan)→実施及び運用(Do)→点検(Check)→見直し(Action)を繰り返し行い環境改善を行うこと。



3 エコイベントにするための5つの項目

5つの項目でチェックポイントを示しました。計画段階と実施段階に分けてチェック欄を設けていますので、各項目の取り組み状況の確認に活用してください。

- I ごみの減量化とリサイクル
- II 省資源・省エネルギーの推進
- III 環境に配慮した交通手段
- IV グリーン購入の推進
- V 環境意識啓発の推進

チェック欄	
計画	○ 実施予定
	× 該当するが実施できない
	— 該当しない
実施	○ 実施できた
	△ 一部実施できた
	× 実施できなかった
	— 該当しない

I ごみの減量化とリサイクル



イベントには多くの人が集まり、多量のごみが発生します。イベントの開催においては、ごみの発生を最小限にするとともに、やむを得ず発生したものについては、適正に処理しましょう。

《チェックポイント》

1 印刷物の枚数の精査・削減

計画

実施

イベントでは案内チラシ等の印刷物が捨てられることが多いため、イベントの周知にはホームページやSNS、ラジオ等を活用し、チラシやポスター等の枚数を最小限にするよう心掛けましょう。また、チラシの作成は両面印刷とし、紙使用の削減に努めましょう。紙類は、以下の条件を満たせば、無料で回収してもらえます。事前に回収業者に問い合わせることをおすすめします。

〈参考〉

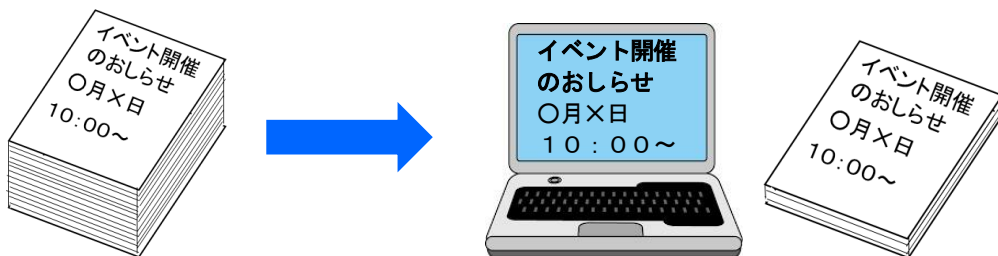
函館市の事業所の古紙リサイクルについて[無料回収など]

◇ 回収条件

- 1 紙類を段ボール、OA紙等の種類ごとに分けていること。
- 2 金属やビニール等が取り除かれていること。
- 3 ひもで十文字にしばっていること。
- 4 1回当たりの回収量が100kg程度であること。

※ 詳細についてはHPや、環境推進課(☎ 56-6694)まで問い合わせてください。

【HPアドレス】<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014042500051/>



2 ごみ分別・削減の徹底

計画

実施

分別ボックスを設置する場合は、事前に分別方法を、収集を依頼する業者と協議し、イラスト等をつけて分かりやすく表示するとともに、分別の責任者や指導員も決めましょう。また、分別ボックスを設置しない場合は、ごみの持ち帰りの呼びかけを徹底しましょう。

※ 一般廃棄物の収集・運搬を許可業者に依頼する場合は、函館清掃事業協同組合(☎ 54-3565)にお問合せください。また、空き缶の処理については函館再生資源事業協同組合(☎ 56-0100)や函館清掃事業協同組合に問い合わせるか、タウンページの再生資源回収・卸の欄をご覧ください。

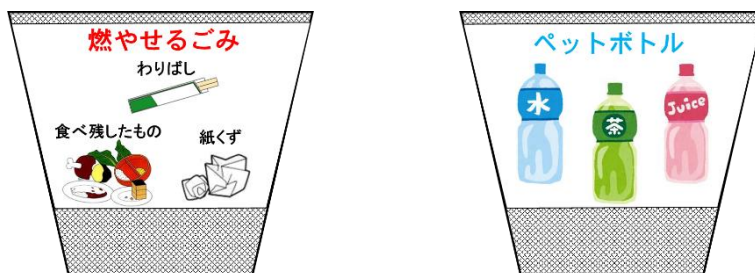
【分別例】

- ①燃やせるごみ ②燃やせないごみ ③プラスチック容器包装 ④ペットボトル ⑤びん
⑥空き缶（アルミ・スチール）⑧古紙

☆生ごみは水分を十分に切りましょう。

☆プラスチック容器包装，ペットボトル，びん，空き缶は中身を取り除き，きれいにすすぎ，ふたの付いているものは必ずはずしましょう。

《分別ボックスの設置例》



3 必要なものは既存のものを使用 (リース・レンタルを含む)

計画

実施

会場設営資材や展示物，設備や機材等は既存のものやリース・レンタルを利用し，新たに調達，作製するものは必要最小限にするとともに，その後も使用できるものにし，会場の設営や準備に伴う環境への負荷を減らしましょう。

4 マイバッグ等持参の呼びかけ

計画

実施

マイバッグやふるしき等の持参を呼びかけ，レジ袋等の削減を図りましょう。



5 使い捨て容器・包装材の使用削減

計画

実施

イベントでは便利な使い捨て容器も，ごみになるものの1つです。使い捨て容器や包装材の削減のために，できるだけ包装を控えたばら売り等を行ったり，マイ箸やマイボトル等の持参者への割引サービスや，リユース食器を取り入れる方法もあります。なお，食品等の販売にあたっては，関係法令の遵守をお願いします。

〈参考〉

リユース食器

何度も繰り返し洗って使用(リユース)できる食器で，使い捨て容器の使用削減につながります。リユース食器の回収率を上げるために，デポジット制度(製品価格に一定金額の「デポジット(預託金)」を上乗せして販売し，容器の返還時にデポジットを返却すること)と組み合わせる方法もあります。

・リユース食器関係(環境省)

【HPアドレス】<http://www.env.go.jp/recycle/circul/2r/dish.html>

・「リユース食器ふうネット」【HPアドレス】<http://www.fuunet.org/>



Ⅱ 省資源・省エネルギーの推進



資源やエネルギーの使用量を抑制することは、地球温暖化防止への取組みとしても重要な事項です。イベント運営の全般にわたり、資源やエネルギーの有効活用や環境保全について考えましょう。

《チェックポイント》

1 電気・ガス・水の節約

計画

実施

スタッフは電気・ガス・水道の使用状況を確認し、つけっ放し、出しっ放し等の無駄をなくすことや参加者への呼びかけが節約のポイントになります。

また、設備や機材を調達するときは、省エネ対応の機種を選びましょう。例えば、ライトアップにはLEDを使用する等があります。



2 照明・音響の適正管理

計画

実施

展示物や看板、ステージ等の過度な照明や電飾、音響は避け、省エネルギーに努めましょう。

適度な音量で♪



3 室温の適正管理

計画

実施

室温は、冷房は28℃、暖房は20℃を目安に、適正な温度設定にしましょう。



Ⅲ 環境に配慮した交通手段



イベントには様々な交通手段を用いて、多くの人々が集まります。乗用車はバスや市電より1人を運ぶのに多くのエネルギーを使い、渋滞の原因となり、さらなるエネルギー消費につながります。イベントを開催する際には、公共交通機関の活用やシャトルバスを運行する等、交通による環境への負荷を減らしましょう。地球温暖化防止にも大きくつながります。

《チェックポイント》

1 公共交通機関等での来場の呼びかけ	計画	実施	
---------------------------	-----------	-----------	--

イベント周知の際に、公共交通機関や自転車、徒歩での来場を呼びかけましょう。また、公共交通機関を利用しやすいように時刻表や付近の案内図等を記載しましょう。



環境にやさしい交通手段を呼びかけましょう！

2 エコドライブの呼びかけ	計画	実施	
----------------------	-----------	-----------	--

マイカーでの来場者には事前の広報でふんわりアクセル等のエコドライブ、相乗りを呼びかけましょう。イベント関係者も積極的にエコドライブを実践しましょう。

～エコドライブ10のすすめ～

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 ふんわりアクセル「eスタート」 | 6 渋滞を避け、余裕をもって出発 |
| 2 加減速の少ない運転を | 7 タイヤの空気圧のチェック |
| 3 早めのアクセルオフ | 8 不要な荷物はおろそう |
| 4 エアコンの使用は適切に | 9 迷惑駐車はやめよう |
| 5 ムダなアイドリングはやめよう | 10 自分の燃費を確認しよう |

エコドライブでエコイベントにGO!



エコドライブ10のすすめ

<http://www.env.go.jp/air/car/ecodrive/susume.html>

3 関係者等のマイカー使用を控える	計画	実施	
--------------------------	-----------	-----------	--

関係者等は可能な範囲で、車の相乗りや公共交通機関を活用し、マイカーの使用を減らしましょう。

4 シャトルバス等の運行	計画	実施	
---------------------	-----------	-----------	--

会場が公共交通機関でアクセスしにくい場合等は、シャトルバスの運行等を考慮しましょう。なお、シャトルバス等は低公害車を優先して調達しましょう。



IV グリーン購入の推進



グリーン購入とは、購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを購入することです。印刷物や資材の調達にあたっては環境に配慮した製品を積極的に取り入れ、広範にわたるイベント関係者に環境への配慮を呼びかけましょう。

《チェックポイント》

1 グリーン購入の実施	計画	実施	
-------------	----	----	--

最近では環境に配慮した製品と環境に配慮していない製品との価格差は小さくなり、環境に配慮した製品を購入しやすくなっています。用紙や文具類、スタッフジャンパー等イベント開催にあたり新たに購入を検討しているものは、グリーン購入法適合商品と記載のあるものやエコマーク、グリーンマーク等がついた製品を優先して調達しましょう。



例えば、スタッフジャンパーは次回以降や、他のイベントでも使えるようなデザインにし、再生材で作られた物を使用しましょう。



〈参考〉

グリーン購入については、市のホームページからも調べることができます。

【HPアドレス】<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014021300290/>

2 印刷物は再生紙や環境にやさしいインキを使用	計画	実施	
-------------------------	----	----	--

ポスターやチラシ等の印刷物には再生紙、植物油インキ等の環境にやさしいインキを使いましょう。また、再生紙や環境にやさしいインキの使用している旨を文章やマークで表示し、環境に配慮していることを明示しましょう。



3 地元の農産物や地場製品の積極的な利用	計画	実施	
----------------------	----	----	--

輸送エネルギーの少ない地元で生産されたものを利用することで、環境負荷を低減でき、地域の活性化にもつながります。できるだけ市内・近郊～国内産の食材や製品を使用しましょう。

地元で生産されたものをイベントで提供するようにしましょう！



V 環境意識啓発の推進



環境に配慮したイベントの成功には、主催スタッフのみならず、出展者や来場者も含めた関係者一同が環境意識をしっかりと持つことが必要です。そのためには、事前のPRや開催中の広報等において、「なぜ環境配慮が必要か」といった目的意識を明確にした啓発が求められます。

《チェックポイント》

1 関係者等の環境配慮の理解と協力を得る	計画		実施	
-----------------------------	----	--	----	--

関係者の事前打ち合わせで、環境配慮への理解と協力を得るようにしましょう。その際には、運営マニュアル等に環境配慮の内容を明確に示すとともに、関係者それぞれの環境配慮項目を具体的に決めましょう。



2 環境に配慮していることを明示	計画		実施	
-------------------------	----	--	----	--

イベントの案内ポスター、チラシ等には環境配慮の内容を具体的に示し、参加者の理解や意識啓発に努めましょう。また、開催中に会場内で実施している環境配慮の理由や効果を具体的に分かりやすく示すとともに、実践を呼びかけましょう。



3 イベント後は会場周辺を清掃	計画		実施	
------------------------	----	--	----	--

分別ボックス等を設置していても、会場内外にはごみが落ちています。イベント開催後は会場周辺の清掃を行いましょう。



4 イベント開催を通じた環境教育の推進	計画		実施	
----------------------------	----	--	----	--

環境啓発ブースの設置や啓発パネルの展示、環境NPO等のボランティアと積極的な連携を図る等、イベント開催を環境教育の場のひとつとして位置付け、活用しましょう。



函館市エコイベント開催マニュアル

発行／平成16年3月(平成29年3月改訂)

函館市環境部環境総務課企画担当

〒040-0022 函館市日乃出町 26-2

TEL 0138-51-0758 FAX 0138-56-4482

E-mail kankyoh-kikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

ホームページにも掲載しております。

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012700436/>